



# 大臨技ニュース

〒545 大阪市阿倍野区旭町1-1-28ニチマンビル  
-0051  
TEL 06-6647-3454 FAX 06-6644-1128  
社団法人 大阪府臨床衛生検査技師会  
大臨技ホームページURL  
<http://www.osaka-amt.or.jp/>

## 平成13年度 通常総会（決算総会）開催される

平成13年5月31日（木）午後6時30分から大阪市大医学部で決算総会が開催された。総会に先立って、名誉会員表彰が 瀬彦三元会長、小林紀崇前会長、城 定廣前副会長に、感謝状が学術部員の乾 登志也氏（フクダ電子近畿販売株式会社）に授与された。朝山会長の挨拶の後、議案審議は1号議案「平成12年度各部事業経過報告に関する件」、第2号議案「平成12年度決算に関する件・会計監査報告」について行われ、審議は無事終了し、森嶋副会長が閉会の辞を述べた。



会員の皆様へ

### 大臨技事務局からのお知らせです

これまで会費納入後、大臨技より手書きの領収証を発行し、郵送していましたが、次年度（平成14年度）より、郵便振込の際に渡される半券の領収書をもってこれに替えることにいたしました。会員の皆様方にはあらかじめご承知おきくださいますようお願い申し上げます。なお、従前のような手書きの領収証を特にご必要とされるかたは別途事務所のほうへご依頼ください。

### 平成13年度 生涯教育推進講座のご案内

日時	内容および講師	教科	会場	担当部会
7月19日(木)18:30~20:00	先天性心疾患はもう怖くない - 現在最新の検査法および治療法 - 関西医大 小児科 助手 寺口正之	B教科	大阪市立大学医学部 大講義室	生理検査

---

---

## Let's Play Tennis

# 大臨技テニスクラブのお知らせ

大臨技主催

大臨技主催の第6回親睦テニス大会を下記要領にて行いますのでご案内いたします。

テニス大会も盛況のうちに5回を終え、毎年恒例の行事となりました。

この大会のために(?)腕を磨いてこられた方、去年スクールから出発された方、またラケットを握るのも初めてという貴方(!)秋の風に乗ってボールを追いかけてみませんか。男女ダブルスの試合はどなたとでもペアを組めます。(以前の優勝ペアは組み替えて下さい)1人で参加の方も当日、ペア決定のお楽しみがあります!

コンソレーションも予定していますので、1回戦で負けた方も、まだまだコートに立ってます。これからテニスを始めようと思っている方には、初心者対象のテニススクールも開校しますので、どうぞ、“きっかけ”を作ってください。

さあ、新しいテニス仲間を作るチャンスです! ラケットとシューズのみでお気軽に、ご参加を!

Try! Try! **大臨技の1日テニススクールで、あなたの生涯スポーツを**

日 時:平成13年9月16日(日)午前9時~午後5時(10時開会式)

募集人員:約60人 先着順(初心者の方のテニススクールも含む)

場 所:マリントennisパーク・北村(大阪市大正区)オムニコート7面使用

参加費:(会員)3,000円、(非会員)4,000円 コート使用料2,500円を含む。

申し込み方法:参加希望者は、ハガキまたはメールで下記の必要事項(1~3)を記入し申し込んで下さい。

- |  |
|--|
| 1. テニス大会またはテニススクール参加   |
| 2. レベルの自己申告 A) 初心者 ...全く初めての人~テニス歴3ヶ月<br>B) 初級 ...テニス歴1年くらいの人<br>C) 中級以上 ...テニス歴2年以上の人 |
| 3. 氏名、施設名、施設住所(郵便番号も)施設電話番号  |

受付終了後(8月上旬)に、詳しい案内をお送りいたします。

申込先:〒591-8025 堺市長曾根町1179-1 大阪労災病院 臨床病理科 谷川直人

E-mail: natsu@kisweb.ne.jp

問い合わせ先:下記運営委員まで

大阪労災病院 谷川直人/府立羽曳野病院 浅井浩次/大阪通信病院 桑井伸一・坂井雅英

市立松原病院 田中建一/大阪市立大学付属病院 塩見和彦/大阪第2警察病院 高岡智子

住友病院 福井順子/大阪鉄道病院 池田桂子・本田純子/ちめが丘診療所 比良野和子

## 日衛協「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」について

さる平成13年3月29日に文部科学省、厚生労働省及び経済産業省の三省名にて大学等への長、都道府県知事、特別区の長等へ「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」(以下「三省指針」という)が告示されました。

ヒトゲノム・遺伝子解析研究において、人間の尊厳及び人権を尊重し、社会の理解と協力を得て、人々が健やかで心豊かに生活出来る社会を現実化するために三省指針が策定されました。三省指針には、ヘルシンキ宣言等に示された倫理規範を踏まえ、提供者個人の権利の保障が、科学的または社会的な利益に優先されなければならないことに加え、社会的に十分な説明を行い、その理解に基づいて研究を実施するための責務が示されています。また今後、ヒトゲノム・遺伝子解析研究の進展によりヒト遺伝子検査が急速に拡大することを踏まえ、社団法人日本衛生検査所協会が「ヒト遺伝子検査受託に関する倫理指針」(以下「日衛協指針」という。)を平成13年4月10日に公表しました。

日衛協指針は、倫理的、法的、社会的に十分な配慮が必要とされる検査を対象とし、「被検者やその家族及び血縁者の権利の保障」、「医療機関における事前の十分な説明と被検者の自由意志による同意」、「個人情報の保護の徹底」等を基本指針として各医療機関へ理解と協力をお願いしています。

日衛協指針の適用範囲は次のとおりです。

**遺伝性疾患の診断に関わる遺伝子・染色体検査**

**家族性腫瘍の診断に関わる遺伝子検査**

**生活習慣病の疾病感受性(易罹患性)診断に関わる遺伝子検査**

**薬剤応答性診断に関わる遺伝子検査**

**その他、個人の体質診断に関わる遺伝子検査等**

尚、日衛協指針に関するお問い合わせ先は下記の通りです。

社団法人 日本衛生検査所協会 〒102-0084 東京都千代田区二番町5番地 西山興業二番町ビル7F

T E L . 03 - 3262 - 2326 F A X . 03 - 3234 - 9669

---

---

---

---

# 大阪府医師会精度管理調査、誤記入・誤登録・未記入を無くしましょう

南支部長 中江健市（近畿大学医学部附属病院）

南支部では6月20日（水）に『リスクマネージメント』をテーマに自由集会を開催致しました。当日の資料として、大阪府医師会精度管理調査委員の皆様にご協力を戴き、外部精度管理におけるリスクマネージメントとしてまとめました。本年度の調査票記入時の参考として戴き、日常検査では医療事故に繋がる恐れが有り、また、検査のプロである技師にとって最も恥ずべき誤記入や誤登録を本年度調査では無くしましょう。

## 設問1 過去、どのような誤記入・誤登録がありますか

試料の取り違い、記入時の誤り（転記ミス） 桁間違い・うっかりミス（例 Hb:14.8g/dlを4.8g/dlと記入）  
コード表からの誤記入・誤登録、必要項目の未記入（基準値・測定温度・単位規定温度・機器および試薬名・メーカー名・委託の有無・ISI値など） 結果記入欄を間違えて記入（上下など）  
網赤血球は%記入であるが、‰の数値を記入。MCV、MCH、MCHC相互の誤記入。  
血液像分類値（%）の合計が100に満たないか超えている。その他の細胞分類欄の記号・番号が未記入で数値のみ記入されている。逆に記入が必要で無い場所に記入。  
判定結果と異なる記入（本来、『不適合』にかかわらず、うっかり『適合』と記入）  
判定基準と報告結果の矛盾、凝集反応における血清希釈倍数と最終希釈倍数の記入ミス。  
鉛筆での記入（黒ボールペンを使い楷書でハッキリと記入するのが常識）  
本調査・再調査共に提出期限外の到着やひどいものは未到着（提出期限を守るのは常識）

## 設問2 どうすれば誤記入・誤登録は無くなりますか

複数技師での点検、再チェック、ダブルチェック、施設連絡責任者・技師長による最終チェック。  
設問を良く読み、コード表の記号・番号を注意深く、間違い無く選択する。  
コード番号が不明な場合は関連メーカーや委託施設に問い合わせる。それでも不明な場合は無理やり記入せず、調査担当者に問い合わせるか、記入欄の下にその他の欄があるので利用する。  
各自施設の測定方法や単位・基準値を定期的に吟味する。標準業務マニュアルの整備。  
理解不足による記入ミス防止には、日頃から原理や臨床的意義などを勉強することで自分が出したデータが正しいものかを判断できる能力を養う。

## 設問3 その他、会員に伝えたいことがあればご記入願います

精度管理はデータ保証の上で重要である。検体管理加算料算定の条件として、外部精度管理に参加していることが請求条件のひとつになっている。多数の施設が参加することを望みます。また、今後はその成績が検査室評価の重要なポイントとなっていくます。

血算のサーベイは新鮮血サーベイとしては国内最大規模のものです。さらに有効な外部精度管理に発展させるために、皆様と共に努力して参りたい。

技師個人が検査に関する理論、技術を向上させるために書籍を購入し、関連学会などに参加するのは己への投資であり、必要経費である。同様に外部精度管理に参加することは検査室（部・科）の必須経費である。参加費用を云々しているようでは、医療における“検査”を自ら軽んじていることになる。外部精度管理を通じ、自分達が測定・提供している検査値が標準にあるのか否かを評価してもらうのは当然の義務である。

日常の精度管理成績に留意することが重要ですが、患者さんの各種検査成績をタテ・ヨコ・ナナメから見るとも重要です。

大阪府への行政資料となる「精度管理報告書」ですから、再調査や検討報告会などで厳しいことを申し上げますが、検査技師が不利益を受けないための配慮であります。

精度管理調査に対する意識改革。軽んぜず重んぜず平常心で臨み、日常の業務に役立てて戴きたい。

輸血事故の例を見てもほとんどの場合がうっかりミスです。日頃から注意深く検査を行うことが重要です。

最後に本アンケートにご協力戴いた委員の先生方に深謝致します。

---

---

## 第8回中央支部生涯教育講演会に参加して

大阪府医師会保健医療センター 矢羽田一信

「医療改革の方向と地域医療」について三上裕司先生の講演をお聞きして驚いたことが3つあります。1つ目は政府が病院機能分担を明確化させるために予想以上に政策誘導を積極的に行っていること。もう一つは大阪では約20,000病床が過剰であり、将来にわたってこれを削減すること。3つ目が医療行政における臨床検査技師の影の薄さであります。

講演の中で三上先生は、「将来200床以上の病院は診療所や200床以下の病院との連携が生き残りに大きく影響すると考えられるが、大阪では病院・診療所の施設情報が十分開示されていないことや両者の信頼関係も十分取れていない点を指摘され、インターネットを使っての情報公開、開放型病院、地域連絡室の充実等の環境改善が早急に必要である」と言われていました。

また、地域医療の取り組み事例として、病院で勤務していた医師を病院の周りに開業させ、病院自身は紹介患者しか診ない沖縄のある病院が紹介されました。私はこんな地域医療を創造する方法があったのかと驚かされました。今後このような様々な取り組みが各地で行われることと思います。

最後に三上先生は検査技師に対し「検査技師も検査室から出て介護医療などへ積極的に参加することが必要ではないか」と言っておられました。

私は今回の講演を聴いて、状況を知らないで悩んだり無駄な努力をするのではなく、自分の置かれている状況を正確に知り、自分の進む方向を決めることが必要であると感じました。

最後に検査技師会への要望として「我々会員がイメージできるような21世紀の臨床検査像（病院と民間検査センター等との役割分担も含め）を示してほしい」と思います。

---